



平成 28 年 12 月 15 日  
港 湾 局 政 策 調 整 課  
横 浜 川 崎 国 際 港 湾 株 式 有 限 公 司

## ～国際コンテナ戦略港湾施策の一環として～ 横浜港における船舶へのLNG燃料供給拠点整備に関する 整備方策のとりまとめの公表をおこないます

本年6月より国土交通省港湾局が事務局となり、横浜港をモデルケースとして船舶へのLNG燃料供給拠点の整備に関する検討会を開催してまいりました。

このたび、12月20日に第7回横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会を開催し、整備方策のとりまとめを行うとともに、検討会終了後にとりまとめの公表を行うことについて、本日別添資料により、国土交通省港湾局が記者発表を行いましたので、情報提供させていただきます。

本市及び横浜川崎国際港湾(株)も検討会に参画してまいりました。今後も国や事業者の方々と連携し、横浜港をLNG供給拠点とすることで、主に北米基幹航路の寄港を促し、東アジアのハブポートとしての復権を目指します。

### お問合せ先

港湾局政策調整課担当課長	林 総	Tel 045-671-7373
横浜川崎国際港湾株式会社企画課長	瀬下 英朗	Tel 045-680-6582



平成28年12月15日

港湾局国際コンテナ戦略港湾政策推進室

横浜港LNGバンカリング拠点整備方策をとりまとめます

～第7回検討会の開催～

12月20日に第7回横浜港LNGバンカリング※拠点整備方策検討会を開催し、整備方策をとりまとめ、公表します。

※LNGバンカリング拠点：港湾において船舶の燃料としてLNG（液化天然ガス）を供給する拠点

本年10月にIMO（国際海事機関）の決定がなされ船舶の排出ガスに対する国際的な規制の強化が2020年に開始されることとなり、排出ガスがクリーンなLNG燃料船の普及が見込まれることから、我が国港湾にLNGバンカリング拠点を形成し、その機能を高めていくことが重要です。そこで、横浜港をモデルケースとしてLNGバンカリング拠点の整備方策を検討するため、国土交通省港湾局が事務局となり、本年6月に横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会を設置いたしました。

こうした中、本年9月に日・シンガポール首脳会談において両国首脳により連携強化に向けた発言がなされ、10月には世界7カ国8者の港湾当局間で国際的な覚書の締結がなされるなど、LNGバンカリング拠点整備に向けた国際的な機運が高まっております。

本検討会では、必要な施設や事業採算性など整備方策のとりまとめに向けた検討を進めてまいりましたが、この度、第7回検討会でとりまとめを行うこととなりましたのでお知らせいたします。なお、検討会終了後には、とりまとめを公表いたします。

記

日時：平成28年12月20日（火）10：30～（30分程度）

場所：中央合同庁舎第3号館 1階 共用会議室

議事：横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会とりまとめについて

事務局：国土交通省港湾局

構成員：別紙名簿参照

なお、取材につきましては、冒頭の頭撮りは可能、それ以降の傍聴は不可とさせていただきます。冒頭の頭撮りを希望される方は、10時20分までに会議室前にお集まり下さい。また、15時30分から国土交通省5階会見室にてとりまとめに関する記者ブリーフィングを開催いたします。

検討会の開催結果及びとりまとめにつきましては、後日、国土交通省ホームページに掲載いたします。

(連絡先) 国土交通省港湾局国際コンテナ戦略港湾政策推進室  
石原、鈴木、今泉 03-5253-8111 (内線) 46812、46854、46855  
03-5253-8628 (直通)  
03-5253-8937 (FAX)

(別紙)

横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会 名簿

(敬称略)

(構成員)

東京ガス株式会社 エネルギー生産部長  
日本郵船株式会社 燃料グループ長  
横浜川崎国際港湾株式会社 企画部長

玄間 隆之  
篠崎 宏次  
正岡 孝

横浜市 港湾局 政策調整部長

中野 裕也

資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油・天然ガス課 課長補佐  
国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 課長補佐

寺岡 優  
河合 崇

○国土交通省 港湾局 国際コンテナ戦略港湾政策推進室長  
海上保安庁 交通部 航行安全課 航行指導室 専門官

松良 精三  
坂中 裕司

(オブザーバー)

経済産業省 商務流通保安グループ 商取引・消費経済政策課 市場監視官

小川 幹子

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 専門官

滝川 尚樹

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 計画企画官

高阪 雄一

(○：座長)

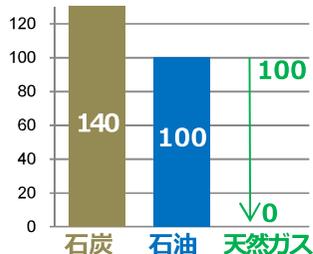
## 国際的な船舶の排出ガス規制・LNGの環境優位性

日本を含む一般海域におけるSO<sub>x</sub>規制が2020年から開始。

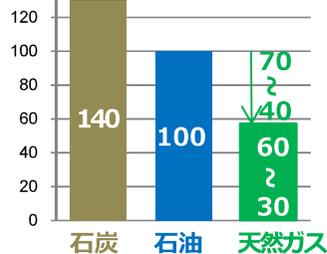


※ 特別海域 (ECA) は北海・バルト海、北米沿岸及び北米カリブ海。

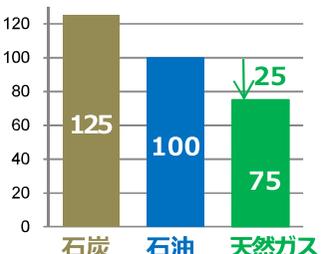
硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>)



窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)



二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)



※ 石油を100としたときの相対値。

## LNGバンカリング拠点としての横浜港の優位性

### 【既存インフラの充実】

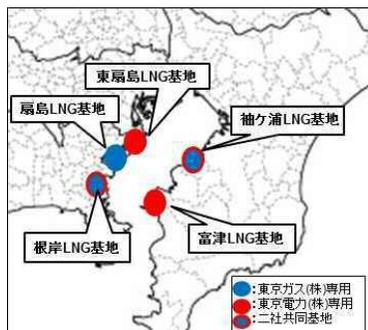
港湾に近接してLNG基地が多数立地、既存施設の利用により供給コストの低減が可能。

### 【LNG燃料船の運航・LNGバンカリングの実施】

2015年8月からLNG燃料船「魁」を運航し、Truck to Shipバンカリングによるノウハウ蓄積。

### 【地理的特性・国際コンテナ戦略港湾としての位置づけ】

太平洋側に位置し、北米航路等のアジア側の最初または最後のバンカリング拠点となる。国際コンテナ戦略港湾として拠点化を推進、コンテナ船、自動車運搬船、クルーズ船等の寄港が多数。



東京湾内のLNG基地

## 横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会

### 【目的】

我が国にLNGバンカリング拠点を形成するため、横浜港をモデルケースとして、LNGバンカリング拠点の整備に関する検討を行う。

### 【構成員】

東京ガス株式会社  
日本郵船株式会社  
横浜川崎国際港湾株式会社  
横浜市  
経済産業省 資源エネルギー庁  
国土交通省 港湾局 (事務局)  
海事局  
海上保安庁

### (オブザーバー)

経済産業省 商務流通保安グループ  
国土交通省 関東地方整備局

### 【開催実績】

第1回:平成28年6月9日(木) 関係者のこれまでの取組状況  
第2回:平成28年7月14日(木) 課題の整理・解決の方向性  
第3回:平成28年8月24日(水) コスト・需要の検討  
第4回:平成28年9月26日(月) 事業採算性の検討  
第5回:平成28年10月24日(月) 事業採算性の改善方策とりまとめの方向性  
第6回:平成28年11月30日(水) とりまとめ案の検討  
第7回:平成28年12月20日(火) とりまとめ

## LNGバンカリングを巡るトピックス

### 【日・シンガポール首脳会談】

LNGバンカリング拠点の整備に向けた両国間の協力を推進。



平成28年9月28日(水)日・星首脳会談

### 【国際MOU(覚書)の締結】

LNGバンカリング推進に向けて7カ国8者の港湾当局間で覚書を締結。



平成28年10月5日(水)覚書署名